

黒島小・中学校のあり方検討委員会だより No.17

平成30年5月吉日

黒島町民の皆様へ

黒島小・中学校のあり方検討委員会
会 長 大 村 靖

これまで約1年半の間、ほぼ毎月、本委員会を開催し、よりよい黒島小中学校のあり方について検討してきました。本委員会設置要綱に基づき平成30年3月末をもちまして、いったん本委員会を閉会することといたします。

町民の方々に協議内容を知っていただくため、このお便りもほぼ毎月発行し、今回で17号となりました。御覧いただき、ありがとうございました。最後の検討委員会についてお知らせします。

1 第14回あり方検討委員会について

1 日 時 平成30年3月1日（火）19:00～20:30

2 場 所 黒島小・中学校校長室

3 参加者 濱田・牧野・大村・鶴崎・山内・田代・松崎・古里・
惣田・高田・木下・戸田 計12名

4 社会教育課の山口さんから

○6月末～7月はじめ、世界遺産委員会で審議。結果がわかる。

○11月には記念イベントを計画している。黒島小中学校の児童生徒に参加してほしい。

○黒島の愛唱歌についてこの会での協議内容は校長先生から聞いている。

5 協議事項

○佐世保市の観光大使であるサンディトリップに作ってもらってはという話は以前から出ていた。無料では無理なので予算も必要。子ども達からのメッセージビデオや手紙など、必要に応じて学校も協力する。

○11月のイベントに間に合わせるのであれば、練習も必要なので、1～2か月前に出来上がっているのが理想的。

○世界遺産になるのであれば、黒島の歌があるとよい。フェリーの待合所などで曲を流してもらえれると、とてもいいのではないかと。

- 4月以降の、このあり方検討委員会について。まずは設置要綱に基づき3月でいったん閉会をする。しかし、今後協議が必要になってくることが予想されるので、このような会を発足させてほしい。
- 構成メンバーとしては、学校・保護者・地域の三者が必要。もう少し、少人数にしてもいいのではないか。
- 連合町内会長だけではなく、連合町内会の副会長も入ったほうがいい。会長が欠席することもあるので。
- 会を発足したとしても、1年間ではないか。義務教育学校としてもある程度落ち着いてくると思われる。会長はぜひ大村さんに継続をしていただきたい。
- 構成メンバーのうち、保護者代表は育友会の役員改選を受けて変わってくる。
- 簡単ではあるが、入学式前に開校セレモニーを行う。黒島小中学校の歴史を振り返るスライドショー。開校宣言。校名・愛唱名・校章紹介、校旗披露などを予定。
- 落成式は10月14日（日）の予定で進めていきたい。前半は式。後半はアトラクションや会食をしたいと考えている。
- 義務教育学校になるということで、これまで様々な懸案事項について、学校だけではなく、保護者・地域が一緒になって、主体的に決めていくことができたことが大きな成果だった。
- 本会の設置要綱にも明記しているが、会を退いた後も守秘義務があるので、委員の皆様にはその点を確認していただきたい。
- 今後必要な協議が出てきたら同様の会を発足させて学校・保護者・地域が一体となって協議をしていきたい。毎回の会に無報酬で参加し、御意見をいただき、ありがとうございました。

※議事録の詳細・このお便りは小学校のホームページに掲載しています。

※義務教育学校について御不明な点は黒島小中学校まで御遠慮なくお問い合わせ下さい。（電話：56-2005【担当：木下教頭】）

